

おこしやす、古墳時代へ

せん りゅう

川柳



結果発表

たくさんのご応募、誠にありがとうございました！

特選

土師器つて

読める父さん

見直した

だいちゃんZ！様

(選評) 土師器は「はじき」と読みます。普通の漢字の読み方ではありませんね。高校の教科書に出てくるので、多くの人が一度は覚えただけです。でも、すぐに忘れてしまいます。そして、普通の読み方ではないので、忘れたら読めません。土師器を即座に「はじき」と読めるお父さんはしっかり勉強をされた教養のある方ですね。見直すべきです。考古資料館は誰かのことを見直す場所でもあったのです。

当選された方には、各賞品と賞状をお送りいたします。

入選

古代よりハグがありました鳥羽埴輪

稲荷古狐様

(選評) 鳥羽遺跡の巫女埴輪は両手で何かを捧げ持っている姿勢をしています。しかし、両手首を欠いているので、まるでハグをしているかのよう。そして少し楽しそう。

目が合った埴輪は父の笑みに見え

黒飛義竹様

(選評) 展示の巫女埴輪は、顔だけ見ると男性のようにも見えます。そして、小さな口には控えめな笑みが。亡くなった？お父様との再会を果たされたのでしょうか。

いにしえの人も須恵器ではい！乾杯

かえるし様

(選評) コーヒーカップに似る須恵器の把手付碗から、乾杯を連想されたのでしょうか。古墳時代に乾杯！があったとしたら、やっぱり須恵器を使ったでしょうね。

鉄の武器人を斬らずに錆びて行き

海神瑠珂様

(選評) 古墳に副葬された鉄製の武器は、人を傷つけることなく死者を守護し続けます。たとえ亡骸は朽ち果しても、多くの場合、錆びて行くのをまぬがれません。

いにしえの須恵器に薫る風を恋う

今北真奈美様

(選評) 古墳時代の須恵器には、何とも言えない気配というか雰囲気がありますね。古墳時代以降の須恵器にはない異国風の匂い？それは「薫る風」？

勾玉を見るたび思う一つくれ

西村英樹様

(選評) 勾玉は土の中で時を越えても色あせません。たいへん美しく、神秘的でもあります。欲しいでしょう。わかります。でも、あげられません。

美しい耳環に思わず令和製?!

桜小町様

(選評) 耳環の金銀装は状態が良いと古墳時代の輝きを今に伝えてくれます。現代の宝石店のディスプレイにあっても、遜色ないでしょう。でも少し重いかも。

馬具の前じつと動かぬ競馬好き

中原政人様

(選評) 競馬がお好きなら、乗馬の歴史についても知ってください。じつと見るべきです。それとも、展示の馬具を前にして、ヒリヒリした過去の勝負を思い出されたのですか。

古墳人下駄履き続け足残す

しゅわねむ様

(選評) 中久世遺跡出土の下駄には、足の跡がこんで残っています。どれほど使えば、あそこまでこむのが。足の主は、まさか足の形が未来に伝わるとは、夢にも思わず。

二の腕に親近感の埴輪なり

照山紅葉様

(選評) 展示の巫女埴輪の二の腕は…、ずいぶん太い二の腕です。あなたはそこに親近感を覚えた。今は細い二の腕が人気。でも、それが何でしょう。二の腕には二の腕の歴史があるのです。



京都市考古資料館
Kyoto City Archaeological Museum

京都市上京区今出川通大宮東入元伊佐町 265 番地の 1
TEL.075-432-3245 (代) FAX.075-431-3307
E-mail: museum@kyoto-arc.or.jp

